

子どもの命と平和を願って一本の映画が、多くの方々のご支援の手に支えられながら完成しました。

「あの日のオルガン」・・・この作品の舞台は、1944年終戦前年の東京にさかのぼります。

あの時の東京品川区に、子どもの命を育む戸越保育所がありました。

戸越保育所はこの年、打ち続く戦火の時代を前に大きな決断を下しました。

保育所を地方に疎開させ、戦火から幼い子どもたちの命を守ろうとの決断を・・・。

しかしながら、全国でも先例のなかった保育所の疎開・・・その前には数々の障害が横たわっていました。

それでも、保母たちは心を一つにしてこの障害をのりこえ、11月25日埼玉県平野村への疎開列車は上野駅を出発しました。

参加した子どもは、下は3才からの53名の幼児、そしてそれを引き連れたのは、皆20才前後の11名の若き保母達でした。

そして、その日から始まった疎開生活は、親元から離された子どもたちにとっても、そして、24時間保育を強いられた保母たちにとってもつらいものでした。

それでも、子どもたちの命を守ろうと決意した保母たちは、数々の障害を乗り越えて翌年8月15日、全ての子どもたちを平和な時代に送り出したのでした。

子どもたちの健やかな成長に赤信号が灯っています。

虐待、いじめ、貧困・・・数々の社会の負の要因が大きな影となって子どもたちの上に投げかけられています。

そんな現代社会に、あの困難だった戦火の時代に子どもの命を守り抜いた若き保母たちの史実は、かけがえのない大切なものを語るとして、私たちはこの作品の製作を決意致しました。

完成致しましたこの作品は、保育士をめざして勉学の若き学生達に向けて、保育士の使命感とその誇りを胸に育てていただく上でも大きな役割を果たすことが出来るのではないかと考えております。

つきましては、本作品の学内での上映につきましてご検討いただきたくご案内申し上げた次第です。

ご検討の程宜しくお願い申し上げます。

昭和から平成。  
そして新たな時代へ語り継ぎたい物語。  
知られざるヒロインたちの  
感動の実話を映画化。



文部科学省特別選定

厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財

平成30年度文化芸術振興費助成

全国  
ご後援団体

一般社団法人 全国保育士養成協議会

社会福祉法人 恩賜財団母子愛育会

公益社団法人 全国私立保育園連盟

社会福祉法人 日本保育協会

全日本私立幼稚園連合会

東京都私立幼稚園連合会

全国認定こども園協会

全国国公立幼稚園・こども園長会

公益社団法人 全国幼児教育研究協会

日本子ども子育て支援センター連絡協議会

公益社団法人 日本仏教保育協会

全国保育団体連絡会

全国保育問題研究協議会

一般財団法人 日本遺族会

日本更生保護女性連盟

全日本民主医療機関連合会

東京都品川区

東京都新宿区

埼玉県蓮田市

